



今月は「ミャンマー」のためにお祈りください

ミャンマーは、東南アジアのインドシナ半島西部に位置する共和制国家。1989年までの名称はビルマ。首都はネピドー。北西はインド、西はバングラデシュ、南東はタイ、東はラオス、北東は中国と国境を接する。多民族国家で人口の6割をビルマ族が占める。他に、カレン族、カチン族、カヤー族、ラカイン族、チン族、モン族、ヤカイン族、シャン族、北東部に中国系のコーカン族などの少数民族がいる。

ミャンマーの経済・政治・宗教について

ミャンマーはチーク森林、耕すのによい土、宝石や鉱石に恵まれており、海には油田やガスが埋蔵されている。ところが国民は貧しく、多くは生活最低水準で生活している。クーデターの後起こった軍事政権は経済を略奪し経済成長を著しく妨げた。子どもたちの約6割は栄養不良だと推測されている。インフレや政治的孤立に加えて、2008年の大型台風の被害が国の経済に負担をかけている。

ミャンマーは第二次世界大戦時に日本やイギリスやインドに占領されていたが、1948年に独立した。その後の国の動向は日本でもメディアによって報道されている。

政府は仏教を優遇してきた。しかし、信教の自由は認められており、イスラム教やキリスト教も少数ではあるものの強く信仰されている。民族的、政治的、また宗教的な違いがもたらす争いが後を絶たない。その中で少数のキリスト教徒は軍によって苦しめられている。

ミャンマーのその他の情報

面積:676,577 km² (日本の約1.8倍) 人口:50,495,672(日本の約40% 2010年時点)



首都ネピドーの様子



ミャンマーの子どもたち



ヤンゴンの町並み

宗教:	
仏教	80.04%
キリスト教	8.98%
イスラム教	7.20%
中国宗教	2.30%
土着宗教	0.63%
ヒンズー教	0.45%
無宗教	0.40%

詩篇 68:32 「この世の王国よ。神に向かって歌え。主に、ほめ歌を歌え。」
祈禱課題

祈りの答え

政府が仏教を優遇している中で、キリスト教会は確実に成長し続けている。次世代の教会指導者たちを中心に一致のための祈りが多く起こっている。また迫害や貧困という試練中で、神様はクリスチャンたちがこの世を捨てるために苦しみを益に変えてくださっていて、教会は確実に聖め続けられている。

貧困による苦しみからの解放のために

2008年の大型台風は140,000人の死者をもたらした。その後に病気や貧困の被害を受けた人の数は数えきれない。経済的損失は100億ドルにも上ったとされている。政府の対応は非常に悪く、海外からの支援を拒んでいた。軍事政治の影響によって、全国民の10%は栄養不良の中で生活している。ミャンマーの政治が安定し、国民が安心して生活できるようにお祈りください。

教会のために

ミャンマーの教会は多くの課題と向き合っている。①宗教的な活動を規制する多くの法律のなかで、教会は自由に活動することを制限されている。②多くのクリスチャンは少数民族に属していて、十分な訓練を受けられず、貧困や孤立の中で戦っている。③教会の中にも多くの民族が混在しており、民族間での一致が求められているが、非常に難しい。

福音が十分に届いていない民族を覚えて

仏教を堅く守り、政治的に支配している「バマ人」、タイ人と親戚である「シャン人」、その他、仏教を信仰する少数民族が多数、アニミズム的な民族、100万人以上いる中国人、社会から見捨てられているイスラム人とヒンズー教の人々にイエスの福音が聖書のことばとともに届けられるようにお祈りください。